



校長 太田繁伸

創立70周年記念式典を終えて

去る11月15日（土）、本校の創立70周年記念式典を挙行いたしました。ご多用の中、板橋区長、区議会議員、教育長をはじめとするご来賓の皆様、そして多くの保護者の方々にご列席いただき、厳粛さの中にも本校らしい活気を感じる、素晴らしい式典となりました。

ご存じの通り、本校では儀式の際も標準服着用を強制していません。当日も標準服と私服が混在していましたが、生徒たちは皆、式典にふさわしいと自ら判断した服装で参加していました。服装が揃っていないからといって規律が乱れることはなく、むしろその態度は大変立派でした。区長や議長からの祝辞でも、この「生徒の主体性や多様性を大切にする校風」を高く評価していただきました。生徒たちもその言葉を一つ一つ噛みしめ、自分たちの学校生活が認められ、応援されていることを実感したようです。



創立70周年ロゴ

今回の式典は、あえて簡素化を図りました。祝賀会は行わず、第2部として学芸発表会（生徒発表）を実施しました。これは、形式にとらわれず実質的な活動を重視したこと、そして「できる人が、できる時に、できる時間で」をモットーとするPTA活動同様、保護者の皆様に過度な負担をおかけしない形を目指したためです。



区長お祝いの言葉

生徒たちの準備も最小限にとどめました。全体練習は前日に流れを確認した程度です。しかし、本番での態度は見事であり、特に音楽の授業で練習を重ねた式典歌「いのちの歌」は、来賓の方々が感嘆するほどの素晴らしいハーモニーでした。これは音楽科の指導もさることながら、「自分たちで良いものをつくろう」という生徒の主体性が育っている証です。教員の指導と生徒の意欲が融合し、感動的な歌声が生まれました。

3月の合唱コンクールでは、受験を経た9年生がさらに素晴らしい歌声を響かせてくれることでしょう。今からとても楽しみです。

臨時的任用教員の紹介

2学期に入ってからお休みをしている英語科の白倉主任教諭が、今年度いっぱい病気休暇をとることとなりました。生徒の皆さん、保護者の皆様には大変ご心配をおかけいたしております。本人は病気療養に励んでいるところではございますが、今年度中の復帰が見込めずこのような対応となりました。

白倉主任教諭がお休みをしている間、臨時的任用教諭として11月25日より酒井孝典教諭が勤務することとなりました。授業以外では9年生に所属し、さまざま生徒たちの支援をしております。

70周年記念式典・学芸発表会

11月15日に行われた記念式典、学芸発表会は、前日まで期末考査で忙しかったと思えないほど完成度の高いものになりました。前日準備に集まった全校生徒に「準備の前に予行練習をします」と伝えると、え？という雰囲気が漂いました。しかし、その後の集中した練習への取り組みは見事でした。また準備作業もてきぱきと、本当によく働いていました。そして当日を迎え、朝学活に急遽入った全校歌練習でも、限られた時間を移動は走って集合するなど、式典に全校で臨もうとする意識の高さを感じられ、うれしく思いました。そして記念式典、学芸発表会は素晴らしいものになりました。



9年乳幼児体験

11月7日に行われた9年生乳幼児体験では、抱っこや遊びを通して乳幼児の成長や可愛らしさを感じるとともに、保護者の苦労や喜びにも触れることができました。最初は緊張していた生徒も次第に笑顔になり、命の尊さや親への感謝、人への思いやりの大切さを実感しました。学んだことを今後のかかわりに生かしていきたいという声も聞かれました。



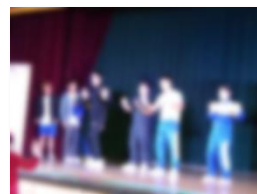
8年生学校保健委員会

11月7日、校医の先生方を招いて8年生が学校保健委員会を行いました。事前アンケートを基に内科・眼科・皮膚科・薬剤師・栄養士の5グループに分かれ、専門的に話を伺いました。校医の先生方には生徒の質問に丁寧に答えていただき、市販薬と病院で処方される薬の違いなど身近で役立つ知識を学ぶ機会となりました。



笑顔と学びの体験活動プロジェクト

11月20日、「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として、劇団笑太夢(しょうたいむ)～いつも心に花束を～の皆さんをお招きし、マジックとパントマイムの講演およびワークショップを行いました。マジックでは生徒の参加もありました。パントマイムのワークショップでは全員で壁の動きを体験したり、代表生徒が舞台上で披露したりと、会場は大いに盛り上がりしました。



命の授業

11月28日、「命の授業」を実施しました。今回は、いじめ・自殺防止をテーマに、自他の命の大切さや生きる力について考えることを目的として、「いじめが終わる方程式 未来の子ども達プロジェクト」の方に講演をお願いしました。講演では、生徒たちが実際に体験を交えながら話を聞くことで、理解を深める様子が見られました。生徒からは、「自分を他人と比べなくていいことがわかった」「人の嫌なところは、実は自分の中にあるからだと気づいた」などの感想が寄せられました。「自分を愛していきたい」という感想も多く、うれしく思いました。



今月の予定

日	曜日	時程	学校行事予定
1	月	B	①エゴグラム分析 専門委員会・中央委員会
2	火	B	三者面談始
3	水	B	三者面談
4	木	B	三者面談
5	金	B	三者面談 ⑤⑥ごっちゃんタイム
6	土		
7	日		
8	月	B	三者面談 全校朝会 安全指導・点検
9	火	B	三者面談
10	水	B	三者面談終
11	木	A	
12	金	A	
13	土		
14	日		ESAT-J予備日
15	月	A	①ごっちゃんタイム
16	火	A	避難訓練

日	曜日	時程	学校行事予定
17	水	B	
18	木	A	
19	金	A	⑥ごっちゃんタイム
20	土		
21	日		
22	月	A	
23	火	A	
24	水	B	給食終 ⑤大掃除
25	木	A	終業式 再登校13:00
26	金		冬季休業日始
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

来月(1月)の主な予定

8日(木)始業式 19日(月)学校公開、学級活動の日 23日(金)避難所開設訓練 30日(金)8年校外学習、7年職場訪問

生徒の活躍

バドミントン部

Bブロック中学校バドミントン大会 出場

吹奏楽部

第22回板橋音楽祭ジュニア2025 出場

池袋GLOBALRING音楽祭2025 出場



情報は金なり

副校長 須藤千絵

友人が「玉音放送を命にかえても(岩波書店)」という本を出版したと聞き、手に取り読むことにしました。私の父方祖父は戦争で両足を失っていたし、母と母方祖母は広島で被爆をして、私にとって戦争はずっとそばにありざわざわするので、普段はこの手のものは読みません。それでも、友人が書いたものなので、手にしてみました。戦時中から終戦、その後を放送関係者へのインタビューをもとに書かれた歴史書です。

まだ読み終えてはいませんが、80年以上前の情報発信がいかに操作されていたのか、改めて驚かされます。新聞も放送も、検閲を通過したものしか出せず、事実と異なる可能性があっても放送せざるを得なかったこと。インターネットもテレビもスマートフォンもない時代、人々はそれを信じるしかなかったこと。情報があふれる今では、想像しにくいひどく不安な時代でした。ですが・・・読み進めるうちに考えさせられました。今は欲しい情報はすぐに手に入るからこそ、受け取る側の状況は変わってきているのではないかなと。

私は「情報は金なり」とと思っています。情報を得ることで人生の選択肢は広がり、将来の得になるということです。学校で学ぶことも将来得をする情報だから、勉強した方がいい。本を読むことも、体験をすることも、SNSもすべては自分を支える大切な“情報”です。けれども何より、正しい情報を見極める力を身につけてほしいと思います。涙なしには読めないこの本のような時代を繰り返さないためにも、得た情報をもとに、正しく考える力を育てていくこと、このことが今の時代に大切だと、改めて感じています。